

## ◎ゆきぐに探究活動について ～探究学習とは？～

2022年から高校で始まった「総合的な探究の時間」。探究学習とは、自ら問いを立て、課題を解決していく学習で、注目を集めているそうです。背景には、「知識の詰め込み」から「自ら学び、課題を見つけ、考える力を重視する」への教育の転換において、知（学力）、徳（豊かな心）、体（健やかな体）のバランスの取れた「生きる力」の育成が目指されていることがあります。

ゆきぐに探究委員会は市内・津南町の高校生が放課後に委員会として探究活動を行い自分のやりたいことに取り組みプロジェクトだそうです。



◆10月8日（火）16時10分～ 十日町情報館でゆきぐに探究活動が行われました。

市内の3つの高校のゆきぐに探究委員会の生徒さん25名、先生5名の参加がありました。挑戦したい事を事前に教えてもらい、情報館の職員が準備をし、資料の探し方や場所をご案内しました。「地域おこし協力隊についてもっと知りたい」「救急救命士の認知度を上げたい」「紙の小説の魅力を知ってほしい」など様々なテーマがあがっていました。ネットで調べられないものでも、情報館には沢山の資料があり職員がお手伝いします。小・中学生のみなさんも探究活動にぜひ情報館を利用していただければと思います。定まった答えのない課題を探究しながら実社会が抱える問題を解決する学びは、流動的で混沌とした現代を生きぬくための力へと繋がっていくように思います。



## ◎一行本舗 あなたに響く一行、あります。



10月26日（土）～11月10日（日）の読書週間にあわせ、情報館では職員おすすめの一冊を本の表紙に貼り、紹介しました。多くの方が立ち止まり手にとってくださいました。素敵な本との出会いを楽しんでいただけたようです。



## ◎図書ボランティア作業を通して育まれるもの

西小の図書室で、図書ボランティアの方々と一緒に作業をしていると、休み時間に2年生の子どもたち5人が「お手伝いすることはありませんか？」とやってきました。あまりに自然に話しかけてくれたので、学校に地域の人たちがいる風景が自然なことであると、子どもたちに認めてもらったような嬉しさを感じました。色が褪せてしまった本の背表紙に題名を印刷したものを貼り付ける作業を依頼すると、黙々と作業をし、授業に戻っていきました。1年生の時から作業を手伝ってくれている子どもたちでした。作業を終え充実感と喜びの表情で教室へ戻っていく子どもたちを見送りながら、成長を感じました。誰かの役に立ちたいと思うことは本来、人の性分なのだと感じかされます。ボランティア作業をしていると、図書だけでなく、色々なことに気づかされます。

